

都立南多摩中等教育学校 教科シラバス
5年 古典B 単位数：3 単位
教科書：大修館書店「古典B 古文編」「古典B 漢文編」 副教材：桐原書店「新しい古典文法」「新しい古典文法演習ノート」 尚文出版「新明説漢文」「新明説漢文ノート」 浜島書店「常用国語便覧」 いいずな書店「プログレス 古典総演習 標準編」「日本文学史集中トレーニング」 「古文単語 330 三訂版」 数研出版「三訂版古典文法マスタードリル1（用言・助動詞編）」

学習目標

本校の国語科の目標

- ① 国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。
- ② 思考力や想像力を養い、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
- ③ 国語に対する認識を深め、国語を尊重しその向上を図る態度を育てる。

第5学年の目標

- ① 自学（自ら学習）できる力をつける。
- ② 古典に関する語彙力・文法力を身に付け、古典の文章における独特な世界観に対する理解を深める。
- ③ さまざまな作品を読むことを通して、ものの見方や考え方に広がりや深みを持つことができるようにする。
- ④ 古文・漢文を問わず時代背景や常識、風習への理解を深め、古典文学の世界を味わう。
- ⑤ 古文単語・古典常識に関する知識・語彙力を身に付ける。
- ⑥ さまざまな文章を読み、そこから価値を見つけ出す感性と、好奇心・探求心を培う。

学習方法

- (1) 本文を読み進め、その内容およびテーマについての解説や説明を行う
- (2) ノート・プリントに必要事項を整理したり、教員の発問に答えたりする。
- (3) 説明された事項に関して思考し、質問する
- (4) 学んだ内容について整理して、まとめる

評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと単元ごとに評価を行います。

観点① 話すこと・聞くこと	自分の考えをまとめたり、深めたりして、目的や場面に応じて筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりしている。				
観点② 書くこと	自分の考えをまとめたり、深めたりしながら、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができている。				
観点③ 読むこと	分の考えをまとめたり、深めたりしながら、相手や目的に応じ、筋道を立てて様々な文章を的確に読み取っている。				
観点④ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語や伝統的な言語文化への関心を深め、国語および伝統的な言語文化を尊重し、進んで理解・表現し伝え合おうとしている。				
	評価の方法\観点	①	②	③	④
	授業状況観察	○	○	○	○
	課題などへの取り組みと提出状況		◎		◎
	小テスト(漢字テスト、文法テスト)など		◎		◎
	定期テスト、課題テストなど	◎	◎	◎	◎

学習内容

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	下記の文法事項を理解し、文章について鑑賞することができる。 ○用言の確認 ○既習助動詞の確認および定着 ○助詞の学習および見極め ○敬語の復習 ○古文単語小テスト ○漢文訓読の復習 ○語句・句法の学習および復習	古文 物語 伊勢物語 大和物語 随筆 枕草子 軍記 平家物語 漢文 思想 道家 法家 文章 桃花源記	
2 学 期	下記の文法事項を理解し、文章について鑑賞することができる。 ○既習助動詞の確認および定着 ○敬語法の復習 ○助詞の学習および見極め ○古文単語小テスト ○語句・句法の学習および復習	古文 歴史物語 大鏡 物語 源氏物語 漢文 史伝 史記	
3 学 期	下記の文法事項を理解し、文章について鑑賞することができる。 ○既習助動詞の確認および定着 ○敬語法の復習 ○助詞の学習および見極め ○古文単語小テスト ○語句・句法の学習および復習	古典 日記 蜻蛉日記・紫式部日記・ 和泉式部日記 評論・随筆 古今集仮名序・無名草子・ 玉勝間 漢文 文章 捕蛇者説 古体詩 長恨歌 他	

学習のアドバイス

古文・漢文ともに基本である文法を理解し、定着させることが習得の上で最も大切なことです。特に助動詞は、文章を理解するために必要な知識となります。また語彙力も必要不可欠な能力です。これらの知識を持つことで初めて、古典の世界を理解し、味わうことにつながっていきます。

そのために日頃から古文単語をはじめとする語彙力を身につけ、助動詞、助詞および句法などの文法力を身につける訓練をしてください。それに適しているのは、予習です。またノートを整理する力です。自分に合ったオリジナルの学習方法をぜひ身につけてください。

語彙力に関しては、小テストをするごとに忘れてしまうのではなく、記憶の回路をはっきりとさせましょう。毎日コツコツとすすめていくことが、古典の世界を理解する近道です。